

事業名	まちづくり公社支援事業	総事業費	40,674 千円
-----	-------------	------	-----------

① 計画 (Plan)

長期振興計画 の位置づけ	施策名	組織力と職員力の向上
	基本事業名	市民視点を基本とした改革の推進

② 実施 (Do)

事業の意図	市職員が行う業務範囲のスリム化を図り、類似業務を集約しアウトソーシングすることで作業の効率化を図るとともに民間での雇用の創出やまちづくりに資する。	
事業の実績 と 成果	取組内容	まちづくり公社の次年度以降の業務について、庁内の取りまとめを行うなど、市役所とまちづくり公社との連絡調整に関する業務を行った。また、まちづくり公社事務局と今後のまちづくり公社のあり方の検討会に参画するなど支援活動を行った。また、市担当者とまちづくり公社担当者と業務ヒアリングを実施し、業務内容の確認を行い、次年度以降の業務の協議を実施した。
	成 果	職員数の増加が見込めない中、草払いなど施設環境整備等の業務について、業務効率化の中心的な役割を果たしている。 まちづくり公社職員の処遇改善等を中心に今後のまちづくり公社のあり方について、まちづくり公社事務局と協働して検討を行ったが、まちづくり公社理事会等の関係会議をへて令和元年度より一部改善がなされたが、継続して支援を行った。ヒアリングを通して業務の再確認ができ、より効率的な業務の遂行につながった。

③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	本来、市役所（職員）がすべき業務の範囲について整理が必要であり、その上で公社への依頼業務について精査していく必要がある。 まちづくり公社の依頼業務の市への報告のあり方等、依頼業務の評価の手法について再度検討を行い、補助金等の額の適正化の指標等の検証が必要である。
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	施設環境整備等の業務について業務効率化の中心的な役割を果たしているが、今後依頼業務の評価等について再検討し、補助金の妥当性を検証する必要がある。

④ 改善 (Action)

2021年度方向性	類似業務の洗い出し。 依頼業務の客観的評価資料の作成。
-----------	--------------------------------

【参考資料】

※事業の取組内容・成果がわかる写真や図・グラフ等	説明